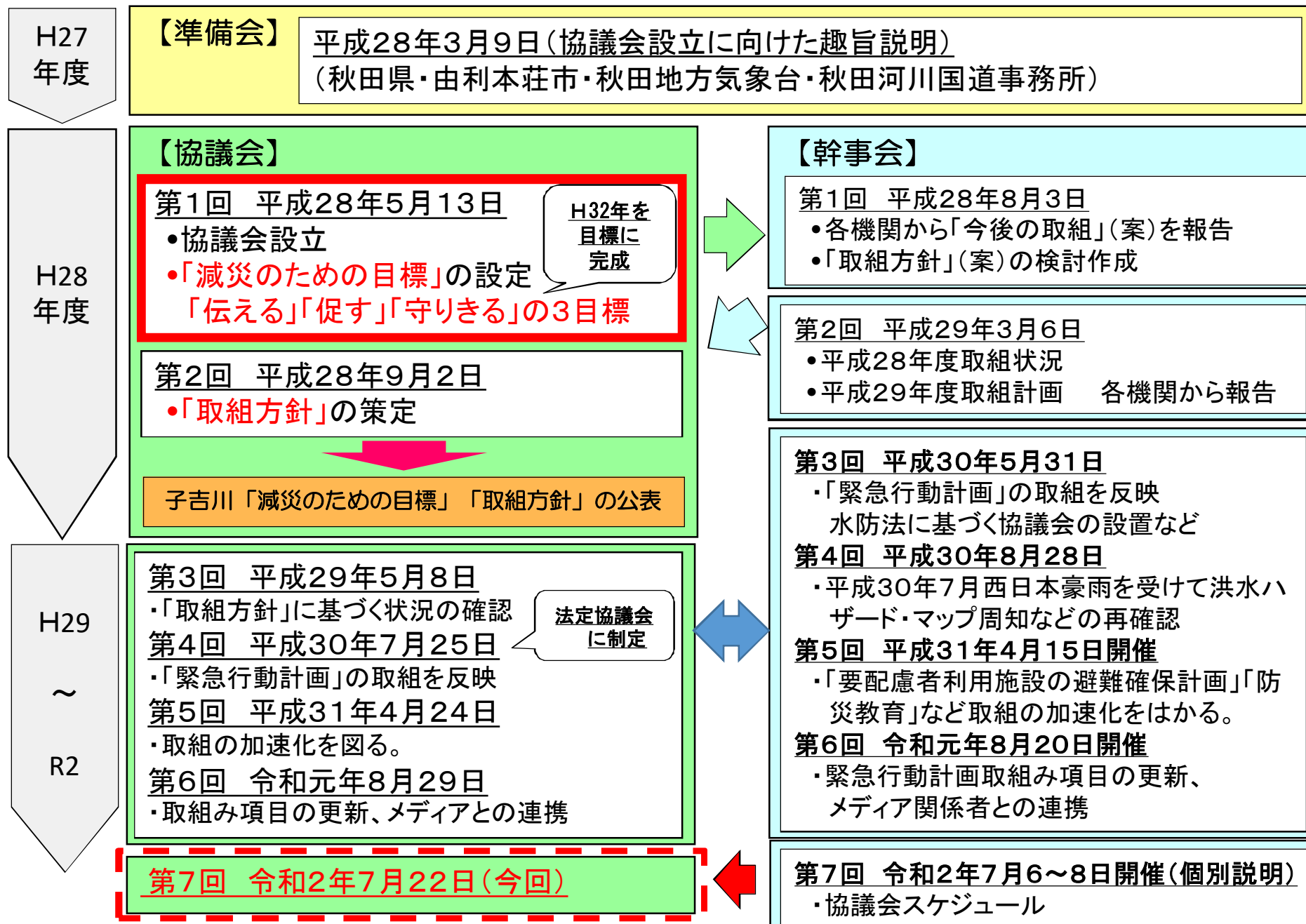


## 協議会のスケジュールについて

令和2年7月22日

第7回 子吉川「大規模災害時の減災対策協議会」

# 協議会スケジュール(令和2年7月時点)



# ■子吉川「大規模氾濫時の減災対策協議会」取組方針一覧

黒文字：従来のメニュー項目  
赤文字：R1新規追加メニュー項目

資料-2

■ 実施済みの項目    ■ 実施済み・継続する項目    ■ 未実施項目

ID	緊急行動計画の項目	体制	適用	由利本 荘市	県	気象台	東北地 整	状況	R1												R2											
									4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
A-1-1	大規模氾濫減災協議会等の設置 ICT等を活用した洪水情報の提供(1/3)	各地域で発生する災害の状況や高齢者の被災リスク等を踏まえ、協議会の 構成員に福祉部局の追加することについて検討を行う。	福祉部局の参画について各機関と調整済み 幹事会メンバーを通じ福祉部局との連携を行う。	○	○		○	目 標	継続																							
		大規模氾濫減災協議会にメディア連携分科会を設置するなど、メディア連携 のための協議会を設け、地域の取り組みを推進する。	第1回秋田地域メディア連携協議会を実施。(R1.7.5)	△	○	○	○	目 標																								
		協議会等の場を活用して取組内容等についてホームページ等で公表する。	国については実施済み。協議会への同意を得て、国と由利本荘 市の両方で公表する。	○			○	目 標	継続																							

## ■ハード対策

ID	緊急行動計画の項目	①洪水を安全に流すためのハード対策		適用、確認事項等	由利本 荘市	県	気象台	東北地 整	状況	R1												R2											
		具体なとりくみ								4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
H-1-1	堤防等河川管理施設の整備(洪水氾濫を 未然に防ぐ対策)	堤防整備【子吉川】						○	目 標	継続																							
		河道掘削【子吉川】						○	目 標	継続																							

ID	緊急行動計画の項目	②危機管理型ハード対策		適用、確認事項等	由利本 荘市	県	気象台	東北地 整	状況	R1												R2											
		具体なとりくみ								4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
H-2-1	決壊までの時間を少しでも引き延ばす堤防 構造の工夫(危機管理型ハード対策)	堤防裏法尻の補強【子吉川】						○	目 標	継続																							
H-2-2	河川防災ステーションの整備	子吉川防災ステーションについて、由利本荘市の円滑な水防活動等に資す る活用方策を検討調整		防災ステーションは整備済み。	○			○	目 標																								
H-2-3	早期復興を支援する事前の準備 多数の家屋や重要施設等の保全対策	全天候型ドローンの配備 陸上水中レーザードローンの配備		全天候型ドローンについてはR2年度内に配備予定。				○	目 標	R2配置予定																							
		2020年度までに、堤防決壊が発生した場合に湛水深が深く、特に多数の人 命被害等が生じる恐れのある区間において、堤防強化対策等を概成		防災、減災、国土強靱化のための3ヶ年緊急対策により、令和 2年度(2020)までに、堤防裏法尻補強対策を行う。				○	目 標	継続																							
H-2-4	排水設備の耐水性の強化	2020年度までに、氾濫による危険性が特に高い等の区間において、樹木堆 積土砂等に起因した氾濫の危険性を概ね解消		防災、減災、国土強靱化のための3ヶ年緊急対策により、令和 2年度(2020)までに、河道掘削・樹木伐採を行う。				○	目 標	継続																							
		2020年度までに、浸水による機能停止リスクが高い排水機場について、排 水機能停止リスク低減策を概ね完了		施設の耐水化について、検討の結果、現状とおりとする。				○	目 標	継続																							

ID	緊急行動計画の項目	③避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整 備		適用、確認事項等	由利本 荘市	県	気象台	東北地 整	状況	R1												R2												
		具体なとりくみ								4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
H-3-1	洪水予測や水位情報の提供の強化	避難行動の目安となる簡易水位計の整備		H30年度6箇所設置、R1年度に5箇所設置済み。					○	目 標	5箇所設置																							
		2018年の緊急点検を踏まえ、2018年度までに、浸水や停電により連続的な 観測監視ができなくなる恐れのある水文観測所において、浸水停電を実施		R1老朽化施設の更新を実施。					○	目 標																								
		72時間以上非常用電源が確保されていない特に重要な既存河川監視カメラ (公開、夜間監視が可能)の対策を順次実施		CCTV高感度対応済み。					○	目 標																								
		リアリティーのある河川の状況を住民一人一人に伝達するため、簡易型河 川監視カメラ等を活用し、画像映像による災害情報の積極的な配信		R2年度6月中旬に6箇所設置済み。					○	目 標	6箇所設置																							
		河川監視用カメラ配置計画を検討調整し、順次整備を実施		CCTV配置済み。 必要に応じて配置計画について検討を行う。					○	目 標	継続																							

ソフト対策

ID	緊急行動計画の項目	①適切に情報を収集し、わかりやすい情報を、速やかに伝える取組 具体などりくみ	適用、確認事項等	由利本 市	県	気象台	東北地 登	状況	R1												R2											
									4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
S-1-1	ICT等を活用した洪水情報の提供(2/3)	河川水位、洪水予報、ライブ映像等の情報をWEBや報道機関を通じて伝達	川の水位情報、水害リスクライン運用中。	○	○	○	○	目標	継続																							
		浸水想定区域図、ハザードマップ、避難情報(避難勧告・避難所情報)を共有		○	○	○	○	目標	継続																							
		スマホ等によるプッシュ型の洪水予報等の情報発信	緊急速報メールのプッシュ型配信開始(H30.5.1)	○	○	○	○	目標	継続																							
		防災情報、水害リスクの認知度に関する実態把握と伝達手法・啓発活動等の検討・実施	川の水位情報、水害リスクライン運用中。	○	○	○	○	目標	継続																							
		水害リスクの高い区間における住民が参加する共同点検の実施	重要水防箇所の合同巡視を実施。	○	○		○	目標	7/10実施																							
		気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善(水害時の情報入手のしやすさをサポート)	R2年5月17日より運用を開始。				○	△	目標	継続																						
S-1-2	ハザードマップの改良、周知、活用	直轄区間の浸水想定区域図については公表済み。H29.1.20公表					○	目標	継続																							
		想定最大規模の洪水での浸水想定区域図・時系列洪水氾濫シミュレーション、避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知	ハザードマップは、R2年度に作成・公表予定。(契約済み)	○				目標	継続																							
		指定区間の浸水想定区域図については、公表済み。R元.9.13公表			○			目標	継続																							
		水害ハザードマップの作成、周知及び訓練等への活用に関する優良事例を収集し、由利本荘市に提供	今後取り組む。	△			○	目標	継続																							
S-1-3	要配慮者利用施設における避難計画の作成及び避難訓練の実施	H30.10.10前期講習会、H30.11.13後期講習会 作成状況:62/71 訓練状況:15/62(R1年度) 作成支援、避難訓練支援を継続して取り組む。		○				目標	継続																							
		避難確保計画の作成状況、避難訓練の実施状況については、毎年、協議会等の場において進捗状況を確認	4月の幹事会、協議会にて確認実施済み。今後も確認していく。	○	○	○	○	目標	4/15幹事会、4/25協議会、8/20幹事会、8/29協議会																							
S-1-4	災害リスクの現地表示	まるとまごハザードマップの実施の効果や有効性について、協議会等の場を活用し共有を図り、現地表示の拡大を促進	今後取り組む。	○			○	目標	継続																							
S-1-5	防災施設の機能に関する情報提供の充実	堤防等の機能や避難の必要性等に関する流域住民等へ周知	R1:地域からの要望を確認しながら対応する。 R2:HM公表後に、国と協力して説明を実施する。	○			○	目標	継続																							
S-1-6	浸水実績の周知(指定区間)	芋川の指定区間に関する浸水実績について共有する。	浸水があった後の協議会の場で共有していく。		○			目標	継続																							

ID	緊急行動計画の項目	②判断・行動の遅れによる被災を防ぐための迅速・確実な避難行動を促す取組	適用、確認事項等	由利本 市	県	気象台	東北地 登	状況	R1												R2											
									4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
S-2-1	ダム放流情報を活用した避難体系の確立	避難行動に繋がるダムの放流情報の内容や通知タイミングの改善、河川水位情報等の活用に取り組む	ダム下流の浸水想定とあわせて実施する。	○	○			目標	継続																							
S-2-2	洪水時における河川管理者からの情報提供等(ホットラインの構築)	洪水時における河川管理者からの情報提供等(ホットラインの構築)	構築済み。	○	○		○	目標	継続																							
		ダム放流情報を活用した避難体系の確立	ダム下流の浸水想定とあわせて実施する。	○	○			目標	継続																							
S-2-3	避難勧告等発令の対象区域、判断基準等の確認(タイムライン)	由利本荘市の避難勧告に着目した事前防災行動計画(タイムライン)を作成・運用	作成済み。(H28.3作成)。R1タイムラインを活用した情報伝達演習も行い、本荘第一病院では受け取った情報を基に、独自に院内演習も実施。	○	○	○	○	目標	継続																							
		水害対応タイムラインを活用した避難訓練等を毎年実施し、明らかになった課題等を踏まえ、避難勧告の発令基準や水害対応タイムライン等を適宜、見直し	R1洪水対応演習を参加して手順などを職員が理解するのに非常に役立つものであった。これからは、毎年実施したい。	○	○	○	○	目標	5/10演習																							
S-2-4	多機関連携型タイムラインの拡充	子吉川タイムラインと連携した避難確保計画の取組(防災体制の品質向上)	避難確保計画の品質向上のための分析に着手する。(R1.7.9ヒアリング)	○			○	目標	継続																							
		福祉部局との連携を踏まえた水害対応タイムラインに更新	福祉部局の参画について各機関と調整済み 幹事会メンバーを通じ福祉部局との連携を行う。	○	○		○	目標	継続																							
S-2-5	危険レベルの統一化等による災害情報の充実と整理	警戒レベルを踏まえた、トリガー情報の明確化と洪水情報のプッシュ型配信	既に警戒レベルに対応済み。避難情報の伝達マニュアルの更新について、次の地域防災計画の改定の際に考慮する。	○	○	○	○	目標	5/29改定																							
S-2-6	ICT等を活用した洪水情報の提供(3/3)	注意報・警報・洪水予報・避難勧告等を発表し、気象庁HP・関係自治体・報道機関・情報伝達装置により住民へ伝達	R2.5.27 Lアラート配信訓練(県・市)を実施。	○	○	○	○	目標	5/24 Lアラート配信訓練(県・市)																							
		市職員、消防団員、消防署員、警察官、自主防災組織等が連携した、避難誘導	風水害時の避難行動要支援者名簿の活用等については継続して取り組む。(R1.7.9ヒアリング)	○				目標	継続																							
		自主防災組織毎の避難マップ、避難行動要支援者避難支援プラン、個別避難計画の作成支援	今後取り組む。	○				目標	継続																							
S-2-7	・避難訓練への地域住民の参加促進	タイムラインを活用したリアリティのある防災訓練の実施	5月の訓練は、全体の流れを確認することができた点が多かった。(R1.7.9ヒアリング)	○	○	○	○	目標	5/10演習																							
		住民向けのわかりやすいタイムラインの作成・周知	今後取り組む。	○	○	○	○	目標	継続																							
		関係機関が連携して、避難情報、河川の防災情報等を活用した住民参加型の避難訓練や、避難場所への避難訓練の実施状況、工夫、今後の予定を共有	協議会・幹事会を通じて予定を共有する。	○	○	○	○	目標	4/15幹事会、4/25協議会、8/20幹事会、8/29協議会																							

